

横浜美術館コレクション展 2015 年度第 2 期

2015 年 7 月 10 日

The Exhibition of the Yokohama Museum of Art: Collection 2015 Part 2

戦後 70 年記念特別展示—戦争と美術—

War and Art: A Special Exhibit Commemorating the End of World War II

岡倉天心と日本美術院の作家たち

OKAKURA Tenshin and the Artists of the Nihon Bijutsuin

横浜美術館

ポール・ジャクレーと新版画

Paul JACOULET and the New Print Movement

2015 年 7 月 11 日(土)—10 月 18 日(日)



川口軌外《群像》1941 年 川口京村氏寄贈

会期中に戦後 70 年の終戦記念日を迎える横浜美術館コレクション展 2015 年度第 2 期では、戦争と美術について考えます。

第一次・第二次大戦間のヨーロッパでは、不安定な社会情勢を背景にして、アヴァンギャルド芸術運動が花開きました。大正期に新興美術運動が興隆した日本でも、昭和に入るとシュルレアリスムをはじめとする新しい表現に触発された画家たちによって、独自の前衛主義が形作られていきます。しかし、それら日本の前衛芸術運動はやがて国家からの弾圧の対象となり、戦争の勃発に伴う翼賛体制下、途絶しました。終戦からしばらくして、社会の復興活動とともに創作を再開する画家たち。記憶に刻まれた生々しい戦争の傷跡、ゼロから再起して新しい表現を模索しようとする決意…。芸術家たちは、戦争という重い経験をいやおうなしに背負い、直接的にせよ間接的にせよ、その影響を作品に投影し続けてきたと言ってもいいでしょう。この特別展示では、当館が所蔵する 20 世紀美術を通して、戦争の前後を生きたさまざまな分野の美術家たちの創作を紹介するとともに、ヨーロッパ、そしてとりわけ日本における美術と戦争との関わりについて、写真や雑誌・書籍等の資料を交えて振り返ります。

一方、本展と同時期に企画展「^{ツァイグオチヤン}蔡國強展：帰去来」が開催されますが、出品作家の蔡國強が深い関心を寄せている近代日本画、なかでも当館のコレクションの特徴となっている、岡倉天心に師事した日本画家、横山大観、^{いまむらし こう やすだゆきひこ}下村観山、今村紫紅、安田靉彦などの作品を中心にご覧いただけます。

また、パリ生まれの「浮世絵師」ポール・ジャクレー(1896—1960)をご紹介します。衰退していた浮世絵の復興と近代化を目指した「新版画」の運動において、特異な位置を占めるジャクレー作品 188 点のコレクションから代表的作品と、^{はしぐちごよう いとうしんすい}橋口五葉や伊東深水ら「新版画」の作品を展示します。

展示構成

戦後 70 年記念特別展示 戦争と美術

第 I 章 不穏な風景——1920 年代から第二次世界大戦までの前衛美術と写真

【出品作家】マックス・エルンスト、サルバドール・ダリ、^{しみずとし ふじたつはる}清水登之、藤田嗣治、福沢一郎、^{さいとうよしげ おがわらしゅう}斎藤義重、小川原脩、名取洋之助、林忠彦、ほか

第 II 章 焼け跡から——日本の戦後美術にみる戦火の記憶と傷跡

【出品作家】浜田知明、北岡文雄、鶴岡政男、浜口タカシ、奥村泰宏、常盤とよ子、ほか

第 III 章 ふたたびの「前衛」——戦後日本美術の新たな展開

【出品作家】^{しのはらうし お}斎藤義重、元永定正、中西夏之、篠原有司男、^{やなぎゆきのり}田中敦子、柳幸典、ほか

濱谷浩《敗戦の日の太陽、新潟》1945 年(1991 年プリント)

岡倉天心と日本美術院の作家たち

横山大観《雲揺ぐ》、下村観山《ナイト・エラント(ミレイの模写)》、今村紫紅《伊達政宗》、安田靉彦《松風》、ほか

ポール・ジャクレーと新版画

ポール・ジャクレー《真珠、中国東北地方》、橋口五葉《化粧の女》、伊東深水『現代美人集 第 2 輯』より、ほか

ホワイエ、グランドギャラリー **イサム・ノグチと近代彫刻** Foyer, Grand Gallery: Isamu NOGUCHI and Sculptures in the 20th Century

展覧会の見どころ

○両大戦間から戦後に至る時期の絵画、版画、彫刻、当時の報道写真に加え、当館美術情報センターが所蔵する書籍や雑誌類を交え豊富な作品・資料を一堂に展示。戦後 70 年を経た現在の視点から、日本における戦争と美術の関わりを多角的に紹介。

○当館特任研究員の猿渡紀代子が、フランス政府よりポール・ジャクレーの研究と、日仏の文化交流に貢献した実績が評価され芸術文化勲章を受章した功績を記念し、ジャクレー作品 188 点のコレクションから代表作品を選りすぐり展示。また、ジャクレーの養女であり、多くのジャクレー作品を当館にご寄贈くださった、稲垣ジャクレー・テレーズ氏を招いたトークセッションを開催。

1. 【トークセッション】

稲垣ジャクレー・テレーズ、
猿渡紀代子(当館特任研究員)

日時: 2015 年 7 月 25 日(土)
14:00~15:00 (13:30 開場)

ポール・ジャクレー
《真珠、中国東北地方》1950 年
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015
C0652



2. 【アーティスト・トーク】

中村宏(絵画者)

日時: 2015 年 8 月 23 日(日)
14:00~15:30 (13:30 開場)

中村宏《観光帝国》1964 年



1. 2. いずれも

会場: コレクション展示室

参加費: 無料(当日有効の観覧券が必要)

定員: 40 名(当日 12 時より総合案内にて整理券を配布)

【ギャラリートーク】

さまざまな視点から作品の見どころを紹介する、エドキュレーター(教育担当)によるトーク。

日程: 2015 年 7 月 17 日、31 日、8 月 7 日、21 日、9 月 4 日、18 日、10 月 2 日、16 日(いずれも金曜日)

時間: いずれも 14:00~14:30 ※7 月 17 日、31 日、9 月 4 日のみ 15:00~15:30

会場: コレクション展示室 参加費: 無料(当日有効の観覧券が必要)

【夏休み子どもフェスタ 2015】

中学校の美術の先生と当館エドキュレーター(教育担当)が展示室に常駐し、夏休みの小・中学生の作品鑑賞をサポートします。

日程: 2015 年 8 月 8 日(土)~12 日(水)

時間: 10:30~14:00(受付は 13:30 まで) ※8 月 9 日(日)のみ 13:30~16:00 (受付は 15:30 まで)

会場: コレクション展示室 対象: 小・中学生

参加費: 無料(当日有効の観覧券が必要) 小学生以下は観覧無料。中学生は土曜日観覧無料。

基本情報

横浜美術館コレクション展 2015 年度第 2 期 2015 年 7 月 11 日(土)~10 月 18 日(日)

会場 横浜美術館 (〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1)

TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <http://yokohama.art.museum>

開館時間 10:00~18:00 ※9 月 16 日(水)、18 日(金)は 10:00~20:00 (入館は閉館の 30 分前まで)

休館日 木曜日

観覧料 一般 500(400)円 大学・高校生 300(240)円 中学生 100(80)円 ※小学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金(要事前予約)

※毎月第 3 月曜日は横浜市在住の 65 歳以上の方無料(「濱ともカード」をご提示ください)

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料 ※毎週土曜日は、高校生以下無料(生徒手帳、学生証をご提示ください)

※企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます。

プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当(宮野、藤井、窪田、工藤) Tel. 045-221-0319 Fax. 045-221-0317 Email: pr-yma@yaf.or.jp